

戦略教材開発物語

【マル秘メルマガ】より 11 通目その 2



◆ 3. 中小企業の社長はフルラインが必要

経営戦略テープの開発を決めた後、どのようなテーマが必要になるかについて時間をかけて考えました。

その結果、中小企業の社長は経営のすべてを担当しますから、教材はフルラインでなければ役に立たないことがわかりました。

ではそのテーマについて説明しましょう。

開発するテーマの 1 番目は、**経営とはどういうものであるか**になります。

これは経営の全体像と、利益性の善し悪しが根本的に決まる利益性の原則など、経営の基本的なものになります。

2 番目は、**戦略と戦術の違い**になります。

日頃仕事をしていると、戦略とか戦術という話がよく出てきます。ところが、中小企業の社長で戦略と戦術の区別がきちんとつく人は、300 人中に 1 人ぐらいしかいないのです。

もちろんコンサルタントの中にもこの 2 つの区別がつかず、戦術を戦略と言っている人がたくさんいます。前にも説明したようにこの 2 つの区別がつかないと、社長が責任を持って担当すべき役割と、従業員が担当する役割の区別がつかなくなります。

社長の役目と従業員の役目の区別がつかなくなると、目に見える仕事の戦術だけが経営の大事な仕事であると、つい考えてしまいます。

経営全体で戦術は 14%しかありませんからこれでは業績が良くなるわけがありません。

開発すべきテーマの 3 番目は**強者の戦略と弱者の戦略**になります。

以上ここ迄が、建物で言えば基礎に当たる経営の基本的な原則になります。

このあと、商品戦略、地域戦略、営業戦略、それに組織戦略と財務戦略、さらにリーダーシップの戦略も欠かせません。

これ以外に戦術の中ではウエイトが高い、販売戦術や新規開拓のやり方、さらに従業員用の大事なものも必要になります。

これらを合計すると、14 項目にもなります。

1 つの項目で、テープか CD を 6 巻作るとすると 84 巻になり、巻数が多くなるのもありますから、14 項目を作るとすると結局 90 巻は上回ることになります。

90 巻全部を作るとどれぐらいの期間がいるかも、一応計算しておく必要があります。

テープや CD 用の原稿を書くことを初めとして、録音スタジオでナレーターに読んでもらうときの立会い、録音したもののチェック、さらにテキストの編集まで入れると、1 巻のテープや CD を作るのに「半月」はかかります。

つまり 1 年をかけても、24 巻しかできないのです。

このペースで進んだとすると、全部完成するのにおよそ 4 年もかかります。

しかもこれは順調に進んだときの計算ですから、もし失敗が出たり私の体の調子が悪くなったときのことを考えに入れると、5年はかかると見ておかなければなりません。

5年と言えば簡単のように聞こえますが、実際にこれを手掛けるとなると実に大変であることが解かります。

そして、開発費のことも考えておかなければなりません。

1巻の制作費に仮に60万円かかるとすると5,400万円になり、1巻の制作費に70万円かけたとすると6,300万円になります。

原稿を書いて完成するまでに5年、しかも6,000万円を上回る資金がいるということは、私にとってはまさに大事業であったわけです。

(続く)

Lanchester ランチェスター経営(株)

〒810-0012 福岡市中央区白金1-1-8 チュリス薬院301

TEL 092-535-3311 FAX 092-535-3200

メールアドレス customer@lanchest.co.jp HP <https://www.lanchest.com>

